

第8号

平成7年
10月1日

題字
植木 満会長

東進

発行所

土浦一高東進会

〔茨城県立土浦一高〕
進修同窓会
東京支部

事務局 〒101 東京都千代田区神田神保町2-14 朝日神保町プラザ801号
千代田法律会計事務所内 ☎03-3262-0310 FAX03-3262-0648



霞ヶ浦からの筑波山

平成七年度 東進会総会を終えて

平成七年度の東進会総会が六月九日（金曜日）に、芝の東京プリンスホテルにおいて、夜六時三〇分より開催されました。今回は例年にならない夜の開催で集まり具合が心配されましたが、一二十五名の会員が参集し、盛況の内に終了いたしました。

土金雅晴副会長の高一三回卒が当番幹事で、総会・懇親会の企画進行をお願いいたしました。進行役の土金氏の開会宣言が始まり、植木満会長（中三二回）の挨拶、芳尾敬一代表幹事（高五回）の活動報告に続き、六年度の決算報告を幕内邦夫会計幹事（高二〇回）が、監査報告を植木和男監事（中四三回）が行いました。続いて七年度の予算案を大野金一支部幹事（高八回）が行い、新役員の承認で坂本善之副会長（高八回）が副会長を退かれたので、新たに露木修氏（高八回）が副会長に承認されました。

青山和義校長（高八回）から、母校の創立百周年記念の募金・寄付金の集まり具合や、進学状況、部活の活躍などの報告がありました。土方登志子副会長（高九回）から閉会のお言葉をいただき総会は終わりました。

続いて、二部の懇親会に入りまして最初にアトラクションで、両国相撲甚句会の会員四人による太鼓、相撲甚句が披露され、「触れ太鼓」「一番太鼓」

「ハネ太鼓」などのリズムミカルな音を注釈入りで聞き、貴ノ花が大関になったときにできた「花の兄弟」の歌を佐藤若子女性会長が歌い、会長の工藤明氏には、茨城県の名所を歌った甚句を聞かせていただきました。

長戸琴さん(高一八回)と蛸原芳和氏(高二三回)のおなじみのコンビの司会で懇親会は進められ、現在、都民大学教授の茂在寅男氏(中三〇回)に乾杯の音頭で「朗らかに、明るく生活、益々元気に」とのお言葉をいただきました。また、昔の進修同窓会の資料を持ってこられて、見せていただきました。

会場内の各テーブルでは、名刺交換や歓談をしたり、写真を撮ったり、なごやかに進み、蛸原芳和氏の「レッツ・クリンアップ・ザ・レイク」の歌の披露や、カードの番号による抽選会もあり、番号を呼ばれる度に会場内でドヨメキが上がったり拍手がおこったりして盛り上がりました。

鈴木良治氏(高二二回)のリードで校歌を四番まで力強く斉唱し、露木修副会長より「会えて良かった。また、会いましょう。」と閉会の挨拶をいただき盛会のうちに終了いたしました。

平成八年度
土浦一高東進会総会

(日時) 平成八年六月一五日(土)

午後一時～四時

(場所) 東京プリンスホテル

港区芝公園三―三―一



相撲甚句

↑ x100
P. 3-1-(1)



参加者紹介



乾 杯

福 引



旧制土浦中学・土浦高女昭和20年卒業生
戦後50年卒業50年記念・記念誌
戦いのなかの青春

八月一日刊行・大きな反響呼ぶ―

桜花爛漫、陽気発する去る四月一〇日
当時一五・一六才であった土中四五回
生と土浦高女本科三九回生が「第一海軍
航空廠動員学徒の集い」を盛大に挙行い
ました。ここで参加者一同平和を祈
念すると共に久闊を叙し、また懐旧の念
去り難く、感激に浸った一日を過ごしま
した。そしてその想いを温め、当時のこ
とを後世に遺すべく記念誌発行を志し、
編集委員会を結成、全員力を合わせて、
八月一日遂に記念誌「戦いのなかの青
春」を発行いたしました。

内容は、集い当日の記録、動員時代の
日記、回想録、懐かしの写真等の四部構
成ですが、航空廠寄宿舎の食事献立記
録も今回発見されて掲載出来、立派な
記録書にもなりましたので、国会図書
館、茨城県立図書館及び県内全市町村
の教育委員会に寄贈いたしました。ま
た、記念誌発行は新聞各紙にも報道さ
れ大きな反響を呼びつづつあります。

まことに卒業式らしい卒業式もしてい
なかつた私達動員学徒にとって、五〇年
後に完成した卒業記念誌にもなりました。
出版を記念しての祝賀会兼語る会は、
九月一〇日土浦市に九八名が参加し、
この記念誌を活用しながら当時の事を
伝える「平和を希求する語り部」とな
りましょうと誓い合った次第でした。

(問い合わせ先) 渡 邊 光 夫

電話 〇四二五・八二・二四六五

(17) 茨城

1995年(平成7年)4月11日 火曜日

戦時下の青春回顧
土浦で「動員学徒の集い」



「戦時下の青春回顧」をテーマに、旧制土浦中学・土浦高女昭和20年卒業生と、土浦高女本科三九回生が、4月10日(土)午後2時から、土浦市立中央公民館で「動員学徒の集い」を開催した。参加者は、当時の思い出を語り、平和を祈念した。また、懐旧の念去り難く、感激に浸った一日を過ごす。この想いを温め、当時のことを後世に遺すべく、記念誌発行を志し、編集委員会を結成、全員力を合わせて、8月1日遂に記念誌「戦いのなかの青春」を発行した。

1995年(平成7年)4月11日 火曜日

朝日新聞

戦時の労苦しのび
動員学徒の集い



13日 土浦新聞 (32)

茨城読賣

1995年(平成7年)3月20日 日曜日

来月10日、土浦中・土浦高女「動員」
悲劇起こらぬよ



今夏には記念誌を発刊

1995年(平成7年)4月11日(火曜日)第163号

50年前の勤労学徒が集う
霞ヶ浦駐屯地で旧交暖める



旧土浦中と旧土浦高女の元生徒たち

「戦いのなかの青春」をテーマに、旧制土浦中学・土浦高女昭和20年卒業生と、土浦高女本科三九回生が、4月10日(土)午後2時から、土浦市立中央公民館で「動員学徒の集い」を開催した。参加者は、当時の思い出を語り、平和を祈念した。また、懐旧の念去り難く、感激に浸った一日を過ごす。この想いを温め、当時のことを後世に遺すべく、記念誌発行を志し、編集委員会を結成、全員力を合わせて、8月1日遂に記念誌「戦いのなかの青春」を発行した。

1995年(平成7年)4月11日 火曜日

動員学徒の集い
思い出話で平和への願い新たに



1995年(平成7年)4月11日 火曜日

勤労学徒の青春記録
土浦高女と記念誌出版を祝う



1995年(平成7年)4月11日 火曜日

戦いのなかの青春
旧制土浦中・土浦高女が記念誌刊行

(平成7年)9月12日 (平成7年)9月15日

■記念誌発行をともに祝う
土浦高女の皆さんは「上を向いて歩こう」、土中生は校歌「沃野一望数百里」を歌う!!

母校創立百周年記念事業

進修同窓会では、平成九年に創立百周年を迎える母校に同窓会館の建設計画が決議され、各種の実行委員会が組織されて実務を進めています。

募金委員会では、卒業各学年毎に募金目標額を設定し、募金活動をしています。九月十六日現在の募金達成状況をお知らせします。

中二六回生から高二〇回生までの大部分の学年で目標額を達成していますが、高二一回生以後は、まだ目標額にほど遠く、一人でも多くの方々にご協力をお願いします。

会員いんぷおめーしょん

☆平成七年度関東弁護士会連合会の副理事長に、大野金一氏（高八回生）が選任されました。

略歴 昭和三十三年二月十浦一高卒業、東京大学法学部を卒業後、自治省を経て弁護士となる。

☆参議院議員選挙比例代表区で、渡辺孝男氏（高二〇回生）が、新進党より立候補し、当選しました。

略歴 昭和四十二年二月十浦一高卒業、東北大学医学部を卒業後米沢市立病院脳神経外科科長を経て参議院議員となる。

☆西丸式人氏の個展

昨年に続き今年もギンザ・ギャラリーハウスで、西丸式人氏（高一七回生）の水彩画による個展が、七月三日から一五日まで二週間行われました。

昨年は、パレリーナや風景画の展示で、今年はタヒチの果物の静物画や風景画約二〇点が色鮮やかに展示されています。西丸氏は、東京芸術大学卒で、イラストの仕事をする一方、水彩画や色鉛筆画などの技法書も多数手がけています。

また、日本酒通で、都内の日本酒の旨い店はたいてい知っています。なお、本人はピンボウな絵描きと言っています。



☆茂在寅男氏（中三〇回生）出版記念祝賀会

「超航海・英雄伝説の謎を追う」
日時 十一月三〇日（木）

午後六時〜八時

会場 日本海運クラブ（千代田区平河町）
会費 八、〇〇〇円

連絡先 丸の内茂在会・八木政幸
（電話 〇四二四一八九一〇一四八）

母校野球部だより

夏の高校野球甲子園大会は、東京代表の帝京高校が優勝し幕を閉じましたが、茨城県大会の母校十浦一高の戦いを紹介します。

初戦は七月九日日立市民球場にて佐竹高校と対戦し四対〇で勝利、二回戦は七月一五日ひたちなか球場にて勝田高校と対戦し三対二で勝利、三回戦は強豪常総学院に四対〇で敗れてしまいました。選手たちは一生懸命頑張っていました。応援してくれました同窓生の皆さん、本当にありがとうございました。

編集後記

戦後五〇周年の今年の夏は記録的な猛暑でしたが、会員の皆様はいかがお過ごしでしたか。

東京プリンスホテルでの夜の時間設定の総会も無事終えまして、当番幹事の皆様、本当にご苦労さまでした。次回は、高校一四会卒業と高校一六回卒業の皆さんが当番幹事になります。期待しています。

会員いんぷおめーしょんの記事になる事がありましたら、どしどし事務局までお知らせ下さい。